

『新津鉄道資料館』
元国鉄の鉄道学園。新津の鉄道の歴史から始まり、鉄道技術の説明など見どころタップリで、1時間では見終わらない。
2015年9月23日(水)まで特別企画展「えちご私鉄浪漫」が開催されている。今回巡った『越後交通栃尾線』『蒲原鉄道線』など、かつて新潟県内にあった私鉄路線に関する展示がされている。

『新津駅』
信越本線、羽越本線、磐越西線が交わる鉄道の要衝。かつては機関区や車両基地もあり、新津の勤労者の4人に1人が鉄道関係者だったらしい。
町中の商店の前にあった案内板も『駅名標』をあしらっており、町をあげて「鉄道の街にいつ」をアピールしている。
FCPの鉄道資料館の展示パネルにも、『新潟より新津の方が早く鉄道の要衝であった』との表現があり、鉄道に関しては、新潟にかなりライバル意識を持っている様だ(笑)
だが、その新津は現在は新潟市の秋葉区の一部になってしまった。

『五泉駅』
32図先から蒲原鉄道線が五泉駅に入る手前にあったカーブに沿って走る。何と線路跡に新たな道が出来つつあった。これで完全に線路跡が消えてしまう。

『村松城址公園』
ここにも蒲原鉄道線の車両が静態保存されている。ここは、屋根があるのだが、かなりひどい状態である。保存と言えるかどうか…。
蒲原鉄道線の本社は村松にあり、村松駅は車庫もある蒲原鉄道の中心駅であった。現在も『村松駅』の表示が残る駅ビルが、31図先にある「北越銀行」の先右手にある。ここから、五泉駅まで蒲原鉄道線跡と並行して走る。

『蒲原鉄道線跡』
かつて、信越本線・加茂駅から村松を経て、磐越西線・五泉駅まで走っていた『蒲原鉄道線』の「七谷駅」の駅舎(本屋)とホームの跡が25図内に残っている。本屋は現在集会場として使われている。
7CPには、蒲原鉄道線の車両が3種類静態保存されている。屋根が無い屋外であるが、かなりきれいな状態を保っている。
7CPはスキー場で、以前は蒲原鉄道が10分間隔の臨時便でスキーヤーを運んでいたらしい。

『ふるさと林道 麻布谷・黒水線』
林業目的ではなく、半分観光道路のふるさと林道。23図から24図まで、約176kmの全線を走るが、幅員が5mと広いので走り易い。

『長岡 水道公園』
信濃川沿いにある旧中島浄水場跡地を利用した公園で、国の登録有形文化財となっている水道タンクとポンプ棟などの歴史的建物が残る。
水道タンクは昭和2年に完成し、長岡市水道の発祥の地。

『榎峠』
4図から国道351号線の旧道を走る。峠は、隧道で抜けるが、この隧道「榎隧道」の筈だが、出口にある扁額では「比礼隧道」になっている。また、トンネルの大きさも入口側と出口側で違う。元々完成年が違う2つの隧道が繋がったらしい。峠付近に「東山油田」跡の施設などがあるらしいが試走時には気が付かなかった。

『栃尾市街』
現在は長岡市になってしまったが、以前は小さな市であった。市街地に「雁木造り」の通りが残っている。雪深い土地柄を良く表している。
2CPを置いた「越後交通 栃尾営業所」は現在はバスターミナルであるが、以前は長岡から4図あたりを通り、見附を経て、栃尾まで『越後交通栃尾線』と言う軽便鉄道が走っていて、ここが終着駅であった。
12図から14図間は線路跡を走る。
1973年(昭和48年)4月に上見附 - 栃尾間が、1975年(昭和50年)3月に『越後交通栃尾線』全線が廃止された。
栃尾名物に「油揚げ」がある。江戸時代の馬市で馬が売れると油揚げを肴に祝杯をあげたらしい。
コース上では9図の少し手前の右手に『星長豆腐店』の赤い看板があがっている。駐車場の整理をする警備員が立っているのですぐに判ると思う。是非、お試しを。

shixpoDR#26 Course Layout

小さな黒数字はコマ図番号です。
※クイズの位置はおよその位置です。

